

< 私の空襲体験 >

業平小学校は地獄だった ～千代田初子さんの戦争体験～



「業平小学校外観」『東京市教育施設復興図集（部分）』東京都立中央図書館蔵

9月28日(日) 13:00-15:00

(録画配信は10月6日～11月24日)

会場：東京大空襲・戦災資料センター1階・映像講話室

定員：先着40名(事前申込制)

参加費：一般・オンライン1000円 維持会員700円

*入館料込み

*しょうがい者の介助者・付き添いは1名まで無料



申込方法は裏面をご覧ください

千代田初子さんは1931年2月生まれ、1945年3月の東京大空襲の時は、業平橋2丁目(現・墨田区、スカイツリーの近く)に暮らしていました。空襲のさなか、警防団長だった父とは別行動となり、母と一緒に近所の業平国民学校(現・業平小学校)に逃げるも、途中ではぐれたそうです。講堂に入ったものの、壁や天井が燃え出して逃げ出しました。校内は地獄のようだったといいます。地下室に入ろうとするも入れず、壁を乗り越えて学校の横の公園に逃げ、公園のトイレで生き延びました。その後、柴又で敗戦を迎え、戦後は日本舞踊の先生になりました。

今回、縁あってセンターでお話していただけることになりました。戦後80年の秋、一般市民にとって東京大空襲はどのようなものだったのか、それを知り、考える機会にしたいと思っています。後日のアーカイブ配信もあります。ぜひご参加ください。

主催：東京大空襲・戦災資料センター